

施策 2 良好な生活空間の創造

作成日：平成22年 6月 30日																	主管課名：都市整備部建設課	
No	施策名称	主管課	施策の対象	施策の 対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	実績値 (H21)	単位	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の21年度目標達成度とその要因	施策の総評価 (18年度から21年度までの達成状況)
2	良好な生活空間の創造	建設課	市内全域 市民	市域面積 H16:323.25km ² 人口(17年3月末住民基本台帳人口+外国人登録人口)	良好な生活空間が確保されている	良好な生活空間が確保されていると感じる市民の割合	58.7	58.4	57.8	57.5	%	成 61.0	成 62.0	市民アンケート	建設課	・H21市民意識調査(問7-) あなたのお住まいに なっている地域の生活環境や生活環境について、日頃、どのように感じていますか？ 良好な生活空間が確保されている → と思う16.1 % → どちらかといえばと思う41.4 % (合わせて57.5 %)	「良好な生活空間が確保されていると感じる市民の割合」について、21年度目標値62.0%に対し、実績値は57.5%であり、多少下回った実績値となっているが、ここ数年は横ばい傾向である。	「良好な生活空間が確保されていると感じる市民の割合」について、年度によって増減はあるもの、ここ数年は横ばい傾向である。 (生活道路)道路改良事業としては、合併建設計画を優先して整備し、川口橋、小壁線が完成し、田茂山明神前線が供用開始したことにより利便性が向上した。 道路舗装率は、H18(63.9%)、H19(64.0%)、H20(65.9%)、H21(64.7%)と横ばい状態である。 苦情・要望の対応はH18(件数899、処理数685、処理率76.2%)、H19(881、650、73.7)、H20(792、611、77.0)、H21(967、765、79.0)と要望件数にばらつきはあるが、処理率は横ばいである。
												目 62.0	目 63.0				20年度の予算編成方針では、総コストを削減しながら施策成果の維持・向上を図る施策に位置付けられていたが、事務事業の数が増えたため、総コストは増加した。 (生活道路)道路舗装率は20年度末現在で65.9%と、県内市町村で第11位である。15年度から18年度にかけて、合併特例債等によって拡幅等改良工事を進めてきている。年967件(平成21年度)の要望があり、維持修繕以外の要望への対応は難しい状況にある。 (上水道)計画通り事業を実施し、上水道と簡易水道を併せた普及率は20年度末で93.2%となっている。19年度末県平均(専用水道を含む。)の92.6%を上回っているが、さらに事業推進に努めている。 (住宅・住環境)市営住宅の整備を通じて公的住宅の供給に努めている。住宅の種類の状況は、持ち家が7割、借家が3割で持ち家の割合が多いものの、借家の需要も依然として底堅いものとなっている。個人住宅の新築等は減少傾向である。核家族化が進み、人口が減少しているが、世帯数の減少は少ない。民間による賃貸マンション、アパート建設は行われている。 (公園・緑地)都市公園と児童公園は人口一人当たり7.8㎡で全国平均をやや下回るが、用地取得済みの総合公園が整備されると面積的には約2倍となる。未整備の市街地等での公園の整備要望があるが、区画整理に伴う整備以外には進んでいない。	(上水道) 将来に向け、安定した浄水量確保等を目的とし、利水参加した鷹生ダムが平成18年度完成し、新浄水場整備に向け、用地造成、配水池、導・配水管整備等関連事業を計画的に進めた。合わせて、未給水地域の解消、高台等水圧不足対策、老朽管及び水道施設等の改良・更新事業を計画的に実施し、水圧改善と安定供給が計られた。 (市営住宅)18年度から21年度までに48棟145戸の住戸等改善、6棟26戸の下水道接続、455件の修繕を行うとともに、19年度からは4棟16戸の中井団地の大規模改善を実施し、良質な住宅の供給に努めた。21年度には市営住宅等長寿命化計画を策定し、計画的な住宅の改善を行うこととした。 (公園・緑地)平成21年度において、都市計画区域人口市民一人当たりの公園面積は7.8㎡/人となっており、数値的には、都市計画区域人口の減少により微増となっている。また、総合公園の整備後は、目標値14.1㎡/人の達成となるが、その整備については進んでいない現状にある。なお、都市公園については、遊具等設備の補修、更新等をはじめ、トイレの水洗化、バリアフリー化およびオストメイト設置などの施設整備を行っているほか、太陽光発電照明灯の設置も行っており、利便性は向上している。
No	基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の 対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	実績値 (H21)	単位			取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの 主な取り組み(事務事業)の実績
1	生活道路の整備	建設課	市内全域 市民 生活道路		安全で快適に移動できる	舗装率	63.9	64.0	65.9	64.7	%			業務取得	建設課	・市道舗装済延長 / 市道総延長 (業務取得:資料名「道路現況」)	舗装率については、18年度が63.9%、19年度が64.0%、20年度が65.9%と年々増加しているが、21年度は64.7%と若干下がった。 ・21年度は、道路改良事業として、小壁線、増館線、山田線、長谷堂線、富岡線、沼田3号線の工事を行い、小壁線、増館線、沼田3号線が完成した。 ・河川改修事業において、小細浦川河川改修を行い、野々前1号の測量設計を行った。 苦情・要望の対応については、全体の件数が967件に対し、修繕対応件数が765件(処理率79.0%)であった。その内容は、主に維持修繕的なものについてはほぼ対応できたが、改良工事に近い要望への対応は難しい状況であった。	主な事務事業は以下のとおり ・市道整備事業(小壁線、増館線、山田線、長谷堂線、富岡線) ・道路・河川等維持補修事業 この事業で大半の苦情、要望等に対応した。
						苦情・要望への対応率	75.9	72.1	77.0	79.0	%			業務取得	建設課	修繕対応件数(箇所) / 苦情要望件数(箇所)		
2	上水道・簡易水道の整備	水道事業所	市内全域 市民 上水道施設	市域面積 H16:323.25km ² 人口 上水道区域面積	安全な水が安定して供給される	水道普及率	93.0	92.9	93.2	93.6	%			業務取得	水道事業所	・簡易水道を含む (業務取得:給水人口 / 給水区域内人口)	水道普及率(上水道及び簡易水道の普及率)は、平成21年度末現在で93.6%となっている。引き続き、建設改良に伴う施設整備や未給水地域の解消及び高台等水圧不足対策を実施し、水道水(飲料水)の安定供給に努めた。	主な事務事業は以下のとおり ・建設改良に伴う施設整備事業 (送・配水管布設替え、水道施設設備更新) 第1浄水系配水管布設替工事 第3水源他機械・電気・計装設備更新工事等を実施。 ・水道施設整備事業 (未給水地域解消、高台等水圧不足対策) 第5水源電気室新設工事、第5水源機械・電気設備工事 大船渡臨港道路(赤崎地区)配水管布設工事等を実施。 ・越喜来簡易水道整備事業 市道小壁線配水管布設替工事、市道崎浜東側添線外配水管布設工事
3	住宅環境の整備	都市計画課	市内全域 市民 公営住宅	市域面積 H16:323.25km ² 人口 市営住宅戸数	良質な住宅に住んでもらう	公営住宅の入居率	94.1	93.2	91.4	94.6	%			業務取得	都市計画課	年度末数値で把握 入居戸数 / 公営住宅戸数	21年度中に老朽化し空家となっていた市営住宅17戸を用途廃止したため、入居率が上がった。	主な事務事業は以下のとおり ・市営住宅管理事業 ・市営住宅維持修繕事業 ・木造伝統技能者育成事業 木造伝統技能者育成を図るため、年間を通して24回講座を開設した。 上記のほかに参考事業として、「木造住宅耐震補強工事助成事業」がある。 15・16年度の2カ年にわたって、市内木造住宅を対象に、木造住宅耐震診断事業で、120戸の耐震診断(個人負担1戸あたり3千円)を実施。102戸、93.3%の住宅が危険であると診断された。これをもとに17年度は木造住宅耐震補強工事助成事業(補助金上限額1戸当り30万円)を5戸、18年度は1戸、19年度は2戸、20年度は4戸、21年度は1戸に対して実施した。
4	公園・緑地の整備	都市計画課	市内全域 市民 公園・緑地	市域面積 H16:323.25km ² 人口 42千人 都市公園面積 25.41ha	公園・緑地が確保されている	都市計画区域人口市民一人当たりの公園面積(都市公園+児童公園)	7.5	7.5	7.7	7.8	㎡			業務取得	都市計画課	年度末数値で把握 (都市公園面積+児童公園面積) / 都市計画区域人口	新たな公園整備がないため、市民一人当たりの公園面積(都市公園+児童公園)は前年度とほぼ同じである。都市計画区域内人口が減少しているため、一人当たりの公園面積は増加している。	主な事務事業は以下のとおり ・総合公園用地維持管理事業 草刈、風倒木処理や樹木伐採を行った。 ・人と自然・ふれあい公園整備事業 公共下水道供用開始区域の公園トイレ水洗化を実施。(H13:赤沢公園、H14:富沢公園、H17:館下公園、H18:御山下公園、H19:みどり町公園、H20:佐倉里公園) ・都市公園機能強化施設整備事業 一般公園施設整備に合わせて防災関連施設も整備(H20:笹崎公園、H21加茂公園) ・都市公園安全安心対策緊急総合支援事業 一般公園施設整備(H21:大田公園、大田南公園) ・緑のまちなみ整備事業 条件を満たし個人宅へ生け垣設置助成を(上限5万円)行った。